

Library

町生涯学習センター図書室からの7月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

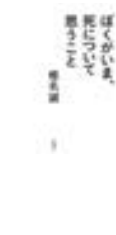
黄色いアサガオだけは追いかけるな 東野 圭吾著 / 『夢幻花』



PHP研究所
小説

独り暮らしをしていた老人・秋山周治が何者かに殺された。遺体の第一発見者は孫娘の梨乃。梨乃は祖父の死後、庭から消えた黄色い花のことが気に掛かり、ブログにアップしたところ、ある人物が近づいてきた…。この世に存在しないはずの花をめぐる、驚がくの真相が明らかになる長編ミステリー。明るい未来を予感させるラストが印象的。

69歳の著者が死について考える 椎名 誠著 / 『ぼくがいま、死について思うこと』



新潮社
一般書

ふと気が付くと、これまでに多くの人を亡くしていた。肉親の死。10代のころに経験した親友の自死。ここ数年相次いだ友人たちとの離別。あやうく死にかけた体験の数々。世界の旅先で見聞きた葬儀や死。死に急ぐ若者たちへのメッセージ。そして、思い描いてみた自身の最期。69歳になる著者の死についての考えが、深く心に染みます。

認知症の母とのおかしきも切ない日々 岡野 雄一著 / 『ペコロスの母に会いに行く』



西日本新聞社
娯楽教養

母は、人生の重荷を下ろしたかのように、ゆっくりとゆっくりと、ぼけていきました。62歳、無名の『ハゲちゃん』漫画家が、施設に暮らす認知症の母とのおかしきも切ない日々をつづった、感動のコミックエッセイ。「忘れること、ぼけることは、悪いことばかりじゃないんだ」。優しく温かな家族の物語に、涙があふれます。

ユーモアたっぷりの「おいしい」おはなし シゲタ サヤカ作 / 『おいしいぼうし』



教育画劇
児童書

ある朝、おじいさんとおばあさんの家の前に、見えないものが引っかかっていた。ペトペトして、うすうす透けて、ツヤツヤして、まあいいんです。ちょっとためてみたら…「おいしい！」でもそれは、あの子の大事な大事なぼうしだったんです。ユーモアたっぷりで、ちょっと謎めいたおはなし。読み聞かせにもおすすめです。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)
✉klg110@town.kosa.lg.jp

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

僕がおすすめする本は、『ドラゴン・キーパー』です。

この本は、ピンという主人公がドラゴンと共に旅をするという話です。

しかし、ピンには数々の困難や敵が立ちふさがってきます。その一方でまた、数々の信頼できる仲間もできます。

『ドラゴン・キーパー』は、

今月の案内人



荒木 光くん
〔芝原区〕

1巻から3巻まであります。だから、それぞれ「次に出てくる仲間はどういう人物なのか？ 今度出

～ My Favorite Story ～ Read This Story! 私のおすすめ図書

『ドラゴン・キーパー』(キャロル・ウィルキンソン著)

自分の名前さえ知らず、奴隷として暮らす少女がいた。その少女だけが、竜の本当の声を聞くことができた。中国・漢王朝を舞台にしたファンタジック・アドベンチャー。

てきた敵はどうやって倒すのかな？」など色々な疑問が出てきます。

その答えが出てくると、「そうくるか！」というびっくりしてしまう場面もあれば、「え、そうするの？」という当たり前のことだから、逆にびっくりしてしまう場面もあります。

こんな風に、物語を読んでいる時に、いつもワクワクできるのもこの本の魅力です。

みなさんも自分なりの楽しみ

方でこの本を読んでみてください。

この本を初めて読んで、「この本面白いな」と思った人は、もう一度読み返してみてください。一度読んだ時よりも、きっと、もっとこの本を楽しんで読めると思います。

そして、二度も三度も読めば、もっと深くこの本の中に入り込めると僕は思います。

